



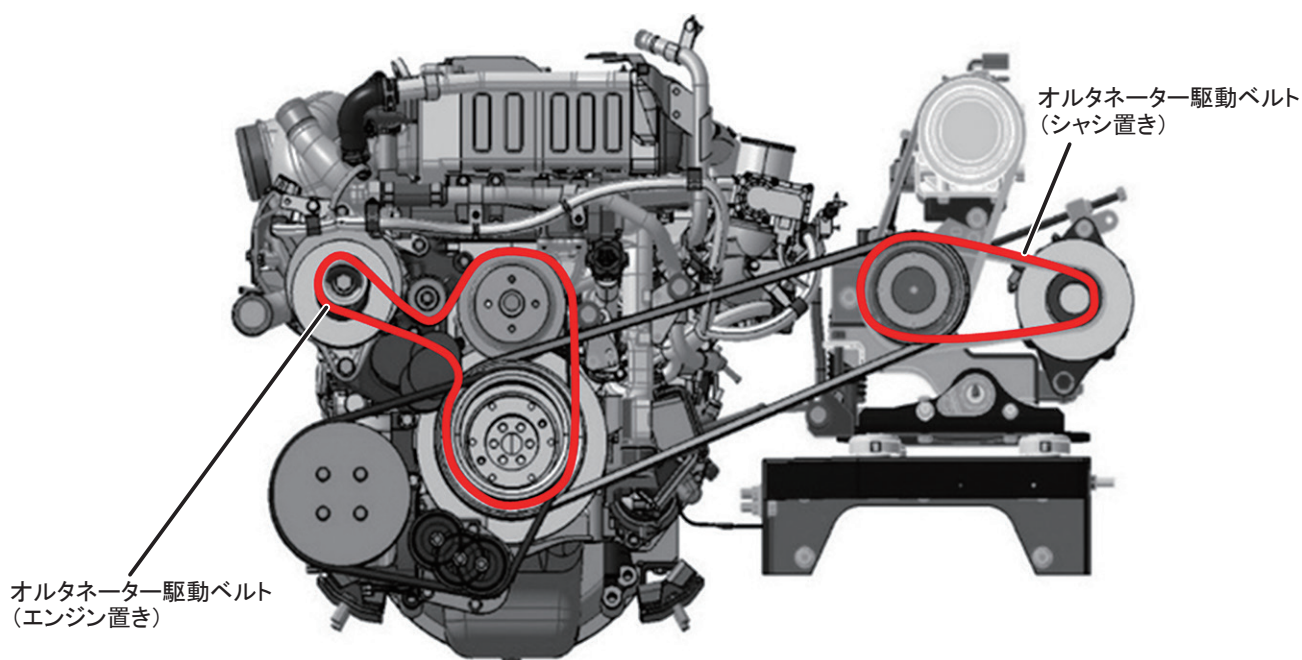
テクニカル・メッセージ

大型バス セレガ(RU) オルタネーター駆動ベルトのメンテナンスについて

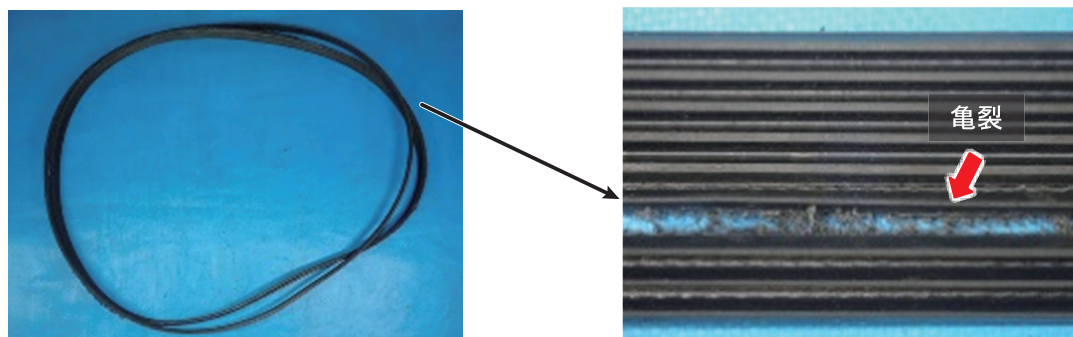
エンジンルーム内のオルタネーター駆動ベルトが早期摩耗・亀裂する事例があります。ベルトの寿命に関わる点検・作業のポイントについてご案内します。

■ 対象車両

新長期規制 / ポスト新長期規制 大型バス(セレガ: RU8J)



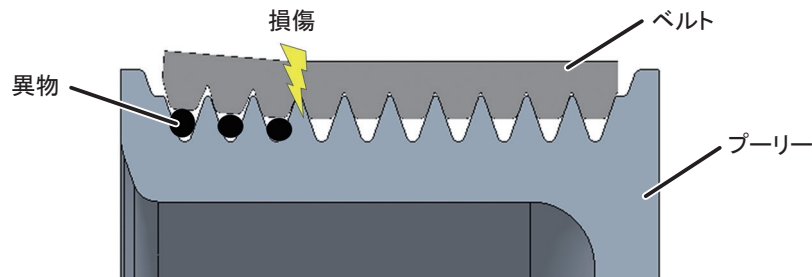
■ オルタネーター駆動ベルト(エンジン置き)の損傷事例



ベルトの溝部に沿って亀裂が発生

■ オルタネーター駆動ベルト（エンジン置き）点検・作業ポイント

プーリー溝に異物が噛み込むとベルトが異物に乗り上げ、ベルトがプーリーに対し片当たりすることでベルトが損傷し亀裂に至ることがあります。



＜プーリー溝の点検について＞

ベルトの掛かる各プーリー溝を点検した際、下図のような異物（小石、砂利、錆、ベルト摩耗粉等）が挟み込んでないか点検し、それらが見られた場合はワイヤーブラシ等で軽くこすり取り除いてください。



【オルタネータープーリーの事例】



【ウォーターポンププーリーの事例】

■ オルタネーター駆動ベルト（シャシ置き）の損傷事例

ベルトの張力に不足があると、ベルトとプーリー間にスリップが生じ、早期にベルトが摩耗します。摩耗が進行するとベルトに亀裂が生じ破断に至ることがあります。

入庫時に張力を確認すると低いものが確認されております。

（基準 206 ～ 265N に対し 150N まで低下している状態でご使用されていた事例もあり）



定期点検入庫時に張力が 150N であったベルトの状態（約半年間のご使用状況）

■ オルタネーター駆動（シャシ置き）の点検・作業ポイント

たわみからは張りすぎに見えていても、実際は張りが足りていない場合がありますので、
工具での張力測定を推奨します。

＜張力の測定工具について＞

張力の測定工具として下記の特種工具設定もございますので、ご購入を検討される際は、
最寄りの日野販売会社にご相談ください。

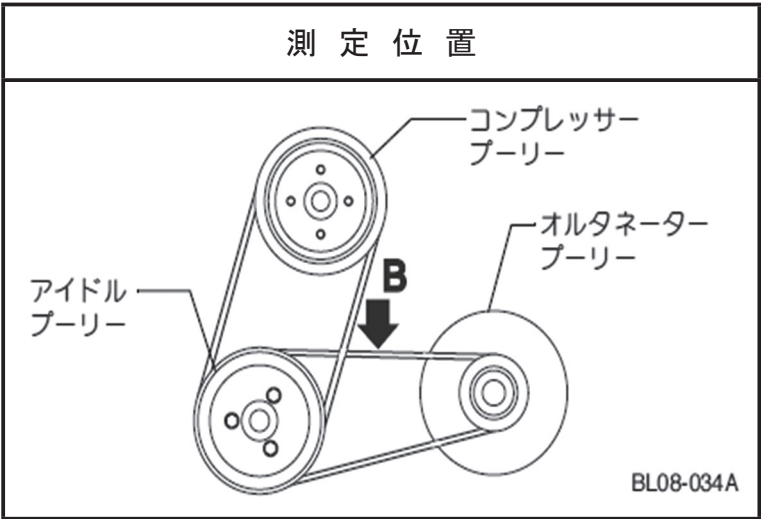
形状	品番	名称
	95506-00090 (デンソー品番)	ベルトテンションゲージ

ポイント

手で押した張力点検
では正確な張力を確認
することができない可能
性があります。

＜ベルトの張り点検について＞

ベルトの張り点検した際、基準から外れている場合は、ベルトの張りを調整してください。



B 点	たわみ (mm)	張力 (N {kgf})
点検時	15 ～ 17	206 ～ 265 {21 ～ 27}
新品ベルト 張り時	12 ～ 14	314 ～ 363 {32 ～ 37}

■ 長寿命タイプのドライブベルトについて

現在、長寿命タイプのドライブベルトの開発を行っております。
量産準備が完了次第、ご案内いたします。（今秋頃を予定）